

二〇一九年春季特別展

大徳寺ダイトクジ龍光院リョウコウイン

国宝コクホウ

曜変天目ヨウヘンテンモク

破草鞋ハクソウジとと破草鞋ハクソウジ

MIHO MUSEUM

Living in Zen and
the Daitokuji Ryōkōin Heritage



2019.3.21 | 木祝 — 5.19 | 日

MIHO MUSEUM

禅と茶の至宝、 龍光院四百年の 扉が開く

私が小僧の頃、虫干しの手伝いは秋の恒例であった。

和尚が朝からせつせと鴨居に掛けた軸物を、

長竿で下ろし、教えられた通りに箱にしまおう。

学校から帰ってくると、和尚と二人、日が暮れるまでこれにかかった。

お寺がどうして美術館のように多くの作品群を収蔵しているのか、

不思議に思えてならなかった。恥ずかしながら、その理由が

ボンヤリわかりはじめたのは、つい最近のことである。

「そうか！心ある人に見てもらうためにお寺に在るんだ」と。

龍光院住職 小堀月浦



《江月宗玩頂相 衆徒請》(部分)
自賛・狩野探幽筆 江戸時代 寛永12年(1635)
3/21~4/21 展示



《蒙流九条袈裟》(部分) 江月宗玩 所用 江戸時代 17世紀
3/21~4/21 展示



《油滴天目 附 螺鈿唐草文天目台 天字印・分銅形印》
伝津田宗及・江月宗玩 所持
茶碗/金時代 12-13世紀 天目台/琉球 16-17世紀



《唐物丸壺茶入(宗及丸壺)
附 菱形内黒外屈輪文盆》
津田宗及・江月宗玩 所持
南宋時代 12-13世紀



《津田宗及 竹茶杓》
桃山時代 16世紀

Handwritten text on a scroll, likely a historical document or a list of names, displayed in a traditional Chinese setting. The text is arranged in vertical columns, reading from right to left. The scroll is mounted on a wall within a dark wooden frame.





〈切型 五十九枚の内〉
室町—江戸時代 16—17世紀



桃山から寛永へ。 そして今に続く 美と法燈

京都紫野の禅刹・大徳寺の塔頭である龍光院は、武将の黒田長政が父・黒田孝高(如水、官兵衛)の菩提を弔うため、江月宗玩和尚(一五七四〜一六四三)を開祖として慶長十一年(一六〇六)に建立されました。堺の豪商で茶人でもある天王寺屋・津田宗及の次男として生まれた江月は、優れた禅風と高い教養で知られ、当時の龍光院は、高松宮好仁親王、小堀遠州、松花堂昭乗ら一流の文化人が集う寛永文化の発信地でした。

また天王寺屋伝来の名宝は、大坂夏の陣の難をくぐり抜け、その多くが江月和尚の住する龍光院に寄進され、今日に伝えられています。

このたび龍光院の全面協力を得て、龍光院四百年の全容を一挙公開いたします。

国宝の曜変天目や密庵咸傑墨蹟、重要文化財の柿・栗図(伝牧谿筆)や油滴天目などをはじめとする天王寺屋伝来の茶道具、寛永文化の美を伝える江月所用の品や江月に帰依した人々ゆかりの文物、歴代寺伝の什物を展覧するとともに、江月以来脈々と受け継がれ今に生きる禅の法燈、龍光院の現在も紹介いたします。

四百年間、散逸を免れて伝わり、継承されてきた寺宝の数々は、代々の住持が祈りの心で守り抜く、奇跡の姿にほかなりません。これまで目に触れることがほとんどなかった龍光院の至宝を、ぜひこの機会にご覧ください。

※会期中一部展示替えあり

●次回予告

2019年夏季特別展 I

謎の蒔絵師 永田友治

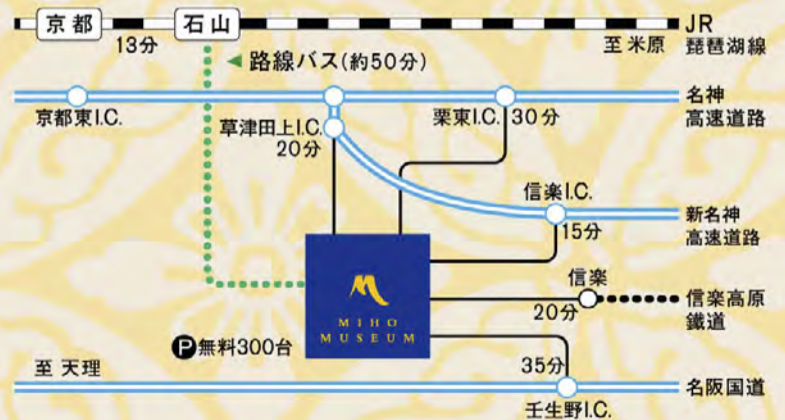
—尾形光琳の後継者を名乗った男

6月8日[土]~7月15日[月・祝]



永田友治作
積鹿蒔絵菓子重
個人蔵

◎バス時刻表	JR琵琶湖線 石山駅発) 帝産バス「MIHO MUSEUM行き」 平日 9:10 10:10 11:10 12:10 13:10 土日祝 9:10 9:50 10:10 11:10 12:10 13:10 14:10
	MIHO MUSEUM発) 「JR石山駅行き」 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:07 17:14
	信楽高原鉄道 信楽駅発) 「田代・畑・陶芸の森ルート」10:50 14:50
	MIHO MUSEUM発) 「信楽駅」方面 11:10 12:20 13:30 15:10
◎タクシー利用	JR石山、瀬田、草津各駅より35分 信楽高原鉄道 信楽駅より20分
◎高速道路利用	新名神「信楽I.C.」より15分 「草津田上I.C.」より20分 名神「栗東I.C.」より30分 名阪国道「壬生野I.C.」より35分
◎開催期間	2019年3月21日(木・祝)~5月19日(日)
◎休館日	月曜日、4/30、5/7 ※ただし4/29、5/6は開館
◎開館時間	10時~17時(入館は16時まで)
◎入館料	一般1100円 高・大生800円 小・中生300円 (20名以上の団体は各200円割引)



MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
TEL. 0748-82-3411 FAX. 0748-82-3414
http://miho.jp (パソコン、携帯電話 共通)

MIHO MUSEUM友の会 会員募集中

お問い合わせ TEL. 0748-82-4788 または 0748-82-3411(代)
MIHO MUSEUM 友の会事務局まで

● イベント & プログラム

3/21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日	4/1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月		
・	・	看	寸	休館	・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	1	休館	・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	欠	休館		
9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月
・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	2	休館	・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	3	休館	・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	・	4
30 火	5/1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	
休館	・	・	・	・	・	・	休館	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	5	休館	・	・	の坐 会禅	・	の坐 会禅	・	・

● 講演会 ●

- 3月31日[日] 14:00~15:30
門脇むつみ(美術史家)
「開祖・江月宗玩と龍光院の宝物」
- 4月14日[日] 14:00~15:30
山川 暁(京都国立博物館 企画・工芸室長)
「染織品に見る大航海時代—龍光院所蔵品から—」
- 4月21日[日] 14:00~15:30
小林 仁(大阪市立東洋陶磁美術館 学芸課長代理)
「曜変天目の魅力と謎に迫る」
- 4月29日[月・祝] 14:00~15:30
朝賀 浩(京都国立博物館 学芸部長)
「龍光院宝物の魅力」
- 5月12日[日] 14:00~15:30
池田俊彦(建築史家)
「密庵席—龍光院の建築」
上記いずれも ●定員100名

● 坐禅の会 ●

の坐 会禅 龍光院の小堀月浦和尚による坐禅の会

3月28日[木]、30日[土]、4月4日[木]、6日[土]、11日[木]、
13日[土]、18日[木]、20日[土]、25日[木]、27日[土]

5月9日[木]、11日[土]、16日[木]、18日[土]

●14:00~15:30(入れ替え制で2回)

●定員1回50名

※3月28日[木]は14:45~の1回のみ。

※4月6日[土]は西村古珠和尚(寶林寺住職)による紙芝居

「大燈国師物語」が加わるため、坐禅は1回のみ。

● 龍光院三会 ●

龍光院で定期的に行われている三つの会が、
展覧会会期中 MIHO MUSEUM に会場を移して開催されます。

一般の方もご参加いただけます。 いずれも ●定員100名

看 看松会 (かんしょうかい)

茶書講義の会。龍光院の先師、南嶺和尚の仰る
「趣味や社交の茶ではなく、利休本来の禅の生活化としての茶の湯」を
実践修行する場としていきたいとの和尚様の思いから開かれています。

3月23日[土] 14:00~15:30

熊倉功夫(MIHO MUSEUM 館長)

特別講演「龍光院の茶の湯」

寸 寸松塾 (すんしょうじゅく)

論語の勉強会。通常は龍光院にて親子で作務(お掃除や畑仕事など)、
坐禅ののち、論語の勉強をします。今は一寸の松のように小さな子どもたちが、
心豊かにたくましく育って大樹となり、世のため人のためになってほしいとの
和尚様の願いが込められています。

3月24日[日] 13:00~14:00

安岡定子(論語塾講師)

子どもと大人のための論語塾

●主に親子対象(小学生以上)

欠 欠伸会 (かんしんかい)

開祖江月宗玩和尚語録の勉強会。芳澤先生の厳しくも温かいご指導のもと、
禅の教えに共鳴する老若男女が集い学んでいます。

4月7日[日] 14:00~15:30

芳澤勝弘(禅学・禅宗史研究家、花園大学国際禅学研究所顧問)

特別講演「江月和尚と欠伸稿(かんしんこう)」

●●● いずれも 会場は南レクチャーホール
当日美術館棟受付にて整理券配布
参加無料(入館料要)

● イベントに関するお問い合わせ ● TEL.0748-82-3411(代)

国宝「曜変天目」三碗同時期公開!

● 静嘉堂文庫美術館 ● 「日本刀の華 備前刀」

4月13日[土]~6月2日[日]

● 奈良国立博物館 ● 「国宝の殿堂 藤田美術館展」

4月13日[土]~6月9日[日]

3館を巡ると、2・3館目の入館料が割引されます

・いずれか1館の入館券の半券をご提示ください。
・2、3館目の入館料200円割引 ・1枚1名のみ ・他の割引との併用不可
※ MIHO MUSEUM で半券のないチケットの場合は、同館受付でお申し出ください。

春の夜間特別開館:

内田輝コンサート Silent Prayer

—ソプラノサクソとクラヴィコードの夕べ—



5月14日[火]

17:00~夕食(秀明自然農法食材の松花堂弁当
MIHO オリジナルワインまたはサワードリンク付き)

18:30~コンサート(美術館棟エントランス特設ステージ)
曲目: 即興曲・J.S.Bach 無伴奏チェロ曲より抜粋ほか

参加費: 一般6,500円 MIHO MUSEUM 友の会会員5,000円
料金には美術館入館料、コンサート鑑賞、ご夕食、消費税をすべて含みます。
申込方法: ※詳細決定次第当館HPにて告知

二〇一九年春季特別展

大徳寺 龍光院
ダイトクジ リョウコウイン

国宝
コクホウ

曜変天目
ヨウヘン テンモク

破草鞋
ハクソウ アイ

MIHO MUSEUM

Living in Zen and
the Daitokuji Ryōkōin Heritage



2019.3.21 | 木祝 — 5.19 | 日

MIHO MUSEUM